

2009年3月期 第1四半期決算 カンファレンスコール 質疑応答(要約)

第1四半期業績について

Q.

薬局での売上の伸びが48%、3~4,000軒の新規採用があるとのことですが、売上の伸びている要因は、新規採用、既存先の1軒当りの取扱金額増加のどちらが主体なのでしょう。

A.

増加の大半は、既存先での取引増加によるものです。

Q.

DPC病院については、今年度はどのようなインパクトを持つと考えたらよろしいのでしょうか。

A.

現在、病院課を中心に各DPC病院に働きかけを行っており、採用の動きはあるものと手応えを感じております。特に、下期には11月収載予定のイリノテカン製剤をテコにして採用が進むと見ております。第1四半期にはまだ若干の増加にすぎませんでしたが、通期で見れば病院向けの売上も高まってくると見ております。

Q.

開業医市場で受診抑制があると聞いていますが、現場の状況はどのようになっているか教えてください。

A.

計数として受診抑制の影響があったかについては、なかなか計りかねますが、5月、6月と進捗がはかばかしくなかった部分もあり、現場では影響が出ていると聞いております。

Q.

6月末の在庫水準は減っていますが、適正水準と考えてよろしいのでしょうか。

A.

在庫については、3月末と比べて若干2億円程度減少しておりますが、今後は増産体制を組んでおり、やや増加する予定です。在庫については、昨年1年間、生産調整して適正化しておりますので、今後は需要の増加に応じてある程度は増加していく方針で臨んでおります。

Q.

4月から7月までの月次の販売状況を教えてください。

A.

月次の販売状況は開示しておりませんが、基本的には前年比20%増収の通期計画の線で推移しております。

Q.

前期決算説明会で示された今期の「収載年度別売上高予想」に比べ、2003年発売品目群の売上実績がやや弱いのではないかと思います。理由を教えてください。

A.

数量は順調に増加しておりますが、薬価改正を経て、単価が想定以上に下がっているため、売上高としてはそれほど伸びていない状況です。

新製品動向について

Q.

7月発売の新製品、特にアムロジピン製剤の状況を教えてください。

A.

アムロジピンについては、新薬メーカーが販売されているジェネリック製品が相当頑張っていると思いますが、当社は適正価格で販売していく方針です。アムロジピン及び全体としても予算程度の売上でスタートできております。

Q.

11月に発売予定のイリノテカン製剤は、ジェネリック医薬品としては、沢井製薬と子会社のメディサ新薬の2社のみの承認となっています。沢井分は自社ルートで販売されると思いますが、メディサ分は販売提携で他社を経由した販売になるものと推察しています。パートナーは既に決まっているのでしょうか。また、売上予算にはどの程度織り込まれているのでしょうか。

A.

販売提携先については、現在交渉中の段階であり、どのような形になるかは申し上げられません。販売予算上はゼロで見えております。

今期の業績見通しについて

Q.

第1四半期でのたな卸資産会計処理による影響が合計372百万円とのことでしたが、通期業績予想との差額部分について教えてください。

A.

廃棄損については、当初より通期で約5億円を見込んでおりました。今回の住所表示変更理由以外には、使用期限到来分の廃棄がある程度出るものと見込んでおります。在庫適正化を計っておりますので、昨年より損失額は圧縮できると考えておりますが、3億円程度は出ると見えております。

Q.

売上原価が期初計画に比べて10億円増加していますが、たな卸資産廃棄損等の影響以外に、こういった要因が織り込まれているのか教えてください。

また、販管費は期初計画に比べて5億円減少していますが、5億円削っても大丈夫ということなのでしょうか。

A.

今回、売上原価をたな卸資産にかかわるもの以外に5億円増やし、販管費は5億円減らしました。売上原価については、今期の在庫水準や原料価格の高騰を慎重に見直したためです。また、販管費については、当初計画の段階では若干余裕を持たせた予算でしたので、原価上昇を慎重に見ている分、さまざまな費目で抑制して運用する考えです。

Q.

広告宣伝費は、通期予算に対して既に半分も使っていますので、予算を上回るのではないかと心配です。「4月に集中的に広告費を投下した」というプランどおりの進捗なのでしょうか。今後は広告宣伝の露出を減らしていくのでしょうか。

A.

おっしゃるとおりこの第1四半期には高めに出ておりますが、通期予算としては期初計画よりも低く着地させたいと考えております。販管費予想の5億円削減のうち、広告宣伝費で1億円程減らす考えですが、あまり極端に露出を減らすのは問題なので、状況をよく見ながら全体として減らしていきたいと考えております。